

# こどもの食物アレルギー緊急時対応 シミュレーション講習会

## ～児童のアナフィラキシーショック時の適切な対応を学ぶ～

2月10日(金)、宮城県立こども病院 愛子ホールにて、小・中学校、児童館、保育施設、消防施設に勤務されている職員向けの食物アレルギー緊急時対応講習会が開催されました。

8名の医師・看護師・栄養士の指導の下、60名程の参加者は座学とロールプレイにより食物アレルギー・アナフィラキシーの理解を深め、適切な対応を学ぶことができました。

まず、スライド投影や動画を用いて、食物アレルギーとアナフィラキシーの実際の症状について、こども病院の堀野医師と鈴木看護師から、アレルギーは普段と違う状況で起こりやすく、緊急時の対応では、複数の人でチェックすることが大切であること、また、「症状チェックシート」を確認し、緊急性の高い症状が出た際にはただちにエピペン®を使用し、救急車の要請をすることが重要となると解説いただきました。

さらに、こども病院佐藤医師よりエピペン®の使い方の説明を受け、各自エピペントレーナーを使用し、取扱いや使用方法について学びました。



その後は4つのグループに分かれ、実際に症状が出た時のロールプレイを行いました。参加者には事例の提示がなされ、友人・担任・養護教諭・校長先生と役割分担し、緊急時の適切な対応や症状チェックシートを使用した症状の観察などを行いました。

今後は各施設で内容を振り返り、役割分担や、症状チェックシートの用意、エピペン®や内服薬の管理方法等を決めておくことが大切であると再認識した講習会となりました。

